

岐阜県循環器病対策推進協議会 議事概要

- 1 日 時 令和5年3月16日(木) 14時～15時
- 2 方 法 オンライン
- 3 出席者 委員15名、オブザーバー9名、事務局4名

	所属	役職	氏名	備考	分野
1	岐阜大学大学院医学系研究科循環器病態学	教授	大倉 宏之	オンライン	医療分野
2	岐阜大学大学院医学系研究科高度先進外科学分野	教授	土井 潔	欠席	医療分野
3	岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座脳神経外科分野	教授	岩間 亨	オンライン	医療分野
4	岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野	教授	下畑 享良	欠席	医療分野
5	岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野	教授	小倉 真治	オンライン	医療分野
6	岐阜県小児科医会	会長	矢嶋 茂裕	欠席	医療分野
7	岐阜県医師会	常務理事	加川 憲作	オンライン	医療分野
8	岐阜県病院協会	常務理事	富田 栄一	オンライン	医療分野
9	岐阜県歯科医師会	副会長	島村 憲優	オンライン	医療分野
10	岐阜県薬剤師会	常務理事	金森 豊	オンライン	医療分野
11	岐阜県看護協会	会長	青木 京子	オンライン	医療分野
12	岐阜県栄養士会	理事	横山 幸美	オンライン	医療分野
13	岐阜県理学療法士会	理学療法士	三川 浩太郎	オンライン	医療分野
14	患者代表(心疾患)		廣瀬 功	オンライン	患者代表(心疾患)
15	患者代表(脳血管疾患)		猪島 康雄	オンライン	患者代表(脳血管疾患)
16	岐阜市消防本部	救急課長	長崎 信隆	オンライン	消防関係者代表
17	全国健康保険協会岐阜支部	保健グループ長	浅野 牧美	オンライン	医療保険者代表
18	岐阜県市町村保健活動協議会保健師部会	副部会長	長尾 ひろみ	オンライン	市町村保健師代表

オブザーバー

19	岐阜労働局職業安定部職業安定課	課長	森崎 泰行	オンライン
20	岐阜産業保健総合支援センター	副所長	早川 政志	オンライン
21	保健所長代表	所長	中村 俊之	オンライン
22	岐阜県危機管理部消防課	課長	辻 博之 代理：此島祐司	オンライン
23	岐阜県教育委員会体育健康課	課長	浦野 善裕	欠席
24	岐阜県商工労働部産業人材課	人材確保対策監	成瀬 幸子	オンライン
25	岐阜県健康福祉部医療整備課	課長	森島 直人	部会議室
26	岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課	課長	山田 育康	部会議室
27	岐阜県健康福祉部国民健康保険課	課長	柴田 安寛	オンライン
28	岐阜県健康福祉部高齢福祉課	課長	有田 誠二	部会議室

事務局

1	岐阜県健康福祉部	部長	堀 裕行
2	岐阜県健康福祉部保健医療課	課長	井上 玲子
3		係長	山本 敦弘
4		技術主査	小川 麻里子

4 内容

- 1) 挨拶(岐阜県健康福祉部長 堀裕行)
- 2) 議事

(1) 岐阜県における循環器病に関する現状及び取組について

○予防・正しい知識の普及について

・健康・スポーツポイント事業のメニューに、自宅での家庭血圧や自己検脈の実施を全県的に加える

ことを検討いただきたい。

- ・薬局内でも健康スポーツポイント事業を積極的かつ継続して啓発していけるとよい。
- ・健康スポーツポイント事業は、スマホアプリで利用可能となったが、実際使ってみると難しさがああり、住民に利用方法を丁寧に伝えることが必要。
- ・栄養士会として、野菜ファーストプロジェクトに携わる中で、子どもから大人まで、わかりやすい啓発や事業の実施が大切なことと感じる。
- ・健診受診率は年々増加しているが、目標値には達していない。健診の受診、その後の結果に基づく保健指導を徹底したい。
- ・循環器病協会では啓発など、様々な取り組みをしており、県独自の取り組みは継続いただきながら、全国規模で行っている取り組みについても県が橋渡しとなって県民にお知らせいただきたい。
- ・循環器病協会では、8月10日を健康ハートの日と設定し、この日を中心とした1週間を健康ハートウィークとして様々なイベント活動を行っており、県にも一緒に取り組んでいただきたい。健康ハートの日にはライトアップを実施したく、可能であれば各地域で、赤い色のライトアップをお願いし、ハートの火の粉となってキャンペーンに参加していただきたく、提案させていただく。

○救急体制の構築について

- ・3年間のコロナにより医療体制、救急医療体制全体が大きな影響を受けており、今後の再構築の徹底が必要な状況にある。
- ・メディカルコントロール協議会では、自治体のプロトコルは、ブラッシュアップをしながら、集合研修につなげていく検討を進めている。
- ・12誘導心電図が配備された救急車は増えているが、全てではなく、可能な限り配備を進めていただければありがたい。
- ・日本循環器病学会において、救急隊の12誘導心電図の手順の見直しを進めており、今後、総務省、消防庁に提案する準備を進めている。各地域へ通知された際には活用いただきたい。
- ・#7119が全県的に運用できれば、救急隊への負荷軽減となるためぜひ進めていただきたい。
- ・#7119は、循環器病に限らず、全県に広がっていくとありがたい。高齢者の増加に加え、夜中の対応を迷う現場も多く、有効的な活用が今後の課題になる。
- ・#7119の県民への周知が必要である。
- ・夜間の緊急搬送は、高齢者施設に多い。高齢者施設の看護職職に対する教育体制を看護協会として強めていきたい。

○急性期から維持期までの医療鄭居体制の構築について

- ・岐阜県では、脳卒中あんしん連携ノートや岐阜脳卒中連携パスは存在しているが、現場の活用は進んでおらず、今後は活用に向けて取り組みを進められるとよい。
- ・再入院予防、特に心不全の予防に関し、薬局では日々の患者フォローの中で、血圧、体重測定等々の啓発し、かかりつけ医の先生と連携しながらフォローしていきたいと考える。

○脳卒中・心疾患等総合支援センターモデル事業について

- ・日本循環器学会では、先行する施設の取り組みの情報収集に努めている。各都道府県或いは医療機関の実情に応じて、取組内容は変わる。比較的、脳卒中は障害とそれに伴う相談内容がはっきりしているが、心臓疾患は多岐にわたるため、こういった相談が想定され、支援が必要か、十分に把握

しきれてないところがある。先行のモデル事業の内容或いは運用を集めて、具体的な内容がある程度絞り込めてから導入するのがよいと考える。

- ・今後、モデル事業を実施する 12 医療機関の詳しい情報が報告されるため、その内容を確認し、議論を進めていく。

(2) 次期循環器病対策推進計画の策定に向けて

- ・歯周病専門医が在籍する医療機関数について、歯周病専門医は非常に限られてしまう。歯周病は、一般的な疾患であり専門医ではなく歯科医師としていただくとよい。
- ・岐阜県の心不全の死亡率は全国平均よりも高く、心不全診療に関しては地域間格差が存在する。心不全治療は、薬物治療などが大きく変わっている現状はあるが、緩和ケアやリハビリテーションと、急性期と慢性期の切れ目ない薬物治療について今後、何らか見える化が図られるとよい。地域の循環器医師と交換しながら地域間格差が存在するのであれば共通のフォーマットを作るなどして是正していくような取り組みができるとよい。
- ・予防・啓発の指標に、高血圧症や脂質異常症患者の外来受療率が示されているが、十分な治療効果が得られていないことがしばしば見られる。個別化治療効果目標にどれだけ到達したかの把握は非常に難しいが、ある程度の指標が示されれば、具体的な治療効果目標を示すことにもなり、より効果が高くなると考えられる、検討いただきたい。